

## 山口県介護支援専門員協会 第1回常任理事会 概要

開催日 平成26年4月18日(金) 午後3時から5時まで  
会場 山口県セミナーパーク 研修室207  
参加者 佐々木会長、橘副会長、藤本事務局長、松谷理事(組織総務部)  
堀田理事(広報事業部)、松井理事(公益事業部)  
岩神理事(生涯研修部)、二井監事、廣兼監事  
事務局 山口県社協 福祉人材研修部  
主任 光安信介、囑託 福本かおる

### 1 報告事項

#### (1) 平成25年度事業報告について

事務局より説明。災害机上訓練の開催について会場、地域を再度確認する。誤字等訂正後、次回理事会の資料として提出することとする。

#### (2) 平成25年度収支決算

事務局より説明。平成25年度からの会費の値上げもあり、500万円近く繰越を残すことができた。研修で補助金が取れたことが大きい。組織総務部が行った広報活動の寄付金収入については、研究大会で抽選会の景品として同額を支出している。

この内容で理事会、総会の資料として提出する。

### 2 協議事項

#### (1) 平成26年度事業計画(案)について

方向性として法人化に向けて、生涯研修体系の確立についての協議を県社協、県と具体的に進めていく。生涯研修体系、スキルアップ研修の確立の実施、制度改正の中での分析、意見提言について調査研究を行う。地域との連携も深め、楽しみのある会にしていく。

法人化を検討するにあたり、組織総務部、三役と事務局で今後協議を行う。

県の福祉用具協会とコラボ研修を行い、研究大会を実施した22年度頃は今年度に近い繰越金があり、法人化についても以前から話には出ていたが、具体化はしていない。研修体系の変更に伴い、各研修時間が増え、講師の選定等、事務量が増えてくるので、事業の住み分けについて県社協と協議していく。法人化に向けてのスケジュール策定の前に他県、他団体の動き、事務局機能等情報収集を行い、下準備を進めていく事が必要。繰越金について会員へ還元していくと共に、補助金を受ける研修がなくなるので、内部留保として積み上げておくことは必要。代議員総会で説明することが必要。

協議事項(2) 法人化についてもあわせて報告。

研修部事業計画について6月開催の施設研修、認知症研修は開催要項を会員へ発送済み。県からの補助金申請書が届いたので、SV養成研修(実践編)、

倫理、コンプライアンス研修会、障害総合支援研修、後見制度研修会の4研修で申請を行う。

実務事務研修について定員30名に対し、100名を超える申し込みがあり、実務事務研修を受けるために会員になったとの声が多数あり、お断りした方と、今年度新規入会者を対象に追加開催を行うこととした。次年度研修体系が大きく変わるので、次年度についても開催できる方向へ検討していく。6月開催の施設研修について各グループにファシリテータを1名お願いするので声掛けをしていく。

### (3) 平成26年度役員体制(部)の構成について

役員改選にあたり、下関以外の地域より理事が出揃っている。

法人化を行うに向けて、事務局長は必要であり今まで会の収支を見てきた方をお願いしたいが、会の方向性を示していただいた藤本事務局長に監事として残っていただき、事務局長のポストについては検討する。

会長推薦枠、監事等その他部の構成については理事会で連絡する。

### (4) 第11回山口県ケアマネジメント研究大会について

11月1日(土)、2日(日)に日程を変更し、会場を押さえており、日程変更については理事の方へは連絡済み。5月10日の組織総務部会で内容について協議を行う。研究発表予定地域について岩国、周防大島で1題、光市、美祢、下関、長門で各1題ずつお願いする。

日本協会から発行されている書籍「医療ニーズの支援とポイント」を基にプロセスと医療連携、制度改正等について厚労省に基調講演の依頼をする。事業者等当事者参加のシンポジウムを行う。勇美記念財団発行の「在宅支援について」のDVDも活用する場があれば取り寄せる。ランチョンセミナー、福祉用具のプレゼンテーション等も検討していく。

### (5) その他

山口県介護研究大会実行委員会委員の推薦について、大会の運営等も含め年4回程度会議に出席となるので、大会開催地の中央に近い方を委員に推薦するのがよい。橘副会長より山口市、宇部市の理事へ依頼する。